

いきいき 地域 から



総合振興局・  
振興局の話題を  
お届けします。

檜山振興局 障がい者も観光を楽しく満喫！  
「ひやまバリアフリーレジャー事業」

檜山地域では、年齢や障がいの有無などによらず、すべての人に楽しんでもらえるよう、地域ぐるみでバリアフリーレジャーを推進しています。

バリアフリー対応型のホテルやフェリーなど、檜山管内の独自のストックのほか、施設改修などで誰もが楽しくレジャーを体験できる環境を整えて、その家族や友人などの管内への誘客促進につなげていきます。また、この事業を通じて地域に助け合いの心が育まれ、障がい者や高齢者、子育て世代など、観光客だけでなく、すべての人が過ごしやすいまちづくりを目指しています。

この事業の取り組みを広く知ってもらうためのPR小冊子も完成し、道南の観光協会、観光案内所などで配布しています。



PR小冊子

ひやまバリアフリーレジャー事業

▶社会福祉課 ☎(0139)52-6651

宗谷総合振興局  
宗谷の魅力をムービーで発信！  
PR動画『大好きな“そうや”へ』公開中

宗谷地域をもっと多くの人たちに知ってもらおうと、宗谷のさまざまな魅力を視覚的に伝え、首都圏などの人たちに発信し、関心や知名度を高めることを目的に、管内全体を紹介する動画を制作しました。そのPR動画『大好きな“そうや”へ』(約5分)が、現在YouTubeなどで公開中です。



『大好きな“そうや”へ』の撮影風景

動画は、稚内北星学園大学の協力を得ながら、振興局若手職員自らが企画・撮影しました。若手職員や地元の人たちへのインタビュー形式で、宗谷に対する想いを雄大な風景とともに4Kカメラで撮影し、私たちが暮らす愛すべき“そうや”へのビデオレター風にまとめています。

ぜひご覧ください。



大好きなそうやへ  ▶地域政策課 ☎(0162)33-2509

根室振興局  
赤ちゃんを中心に交流の場に！  
「計根別こども館 えみふる」

中標津町立「計根別こども館 えみふる」のオープンから5カ月が経過しました。「えみふる」は、児童館、放課後児童クラブ、そしてこれまで地域になかった3歳未満児の一時預かり保育所も一体となっている、子育て支援を一元化した管内初の施設です。現在、たくさんの児童や赤ちゃんたちが楽しく利用しており、酪農業などで忙しい保護者の一助となっています。

赤ちゃんたちがベビーカーに乗って散歩に出ると、地域の人たちが写真を撮ったり、声をかけてくれたりします。また、児童たちも赤ちゃんがいることを確認して、廊下を静かに歩いたり、大声を出さないようにしたりと、気遣いを見せる場面もあり、「えみふる」が年齢を超えた地域の交流の場になっています。



計根別こども館 えみふる

▶中標津町計根別児童館 ☎(0153)78-2539

2020.4.24  
民族共生 象徴空間  
ウポポイ オープン

知りたい！ さまざまなアイヌの伝統や風習、情報などを発信します。  
ふれたい！

# アイヌ文化

路線バスでアイヌ語のアナウンスが流れています

日常生活の中で使う機会が失われ、話せる人が少なくなったアイヌ語を身近に感じてもらうと、日高地方を走る道南バス3路線の平取町内区間で、昨年4月から日本語の後にアイヌ語による車内放送が流れるようになりました。



アイヌ語沙流方言でアナウンスする道南バス

例えば「共栄」停留所には、かつて狩りに使われていた岩山名から「ユックツイカウシ コパツケ(シカが崖から落ちるところの近くの意)」を採用。また、昔はなかった「病院」は「イサチセ(医者(イサチ)の家(セ)の意)」と表現。アナウンスは平取町出身の大学生、アイヌ民族の関根摩耶さんが担当しました。詳しい路線やアイヌ語バス停名などは、右記のアイヌ民族文化財団ウェブサイトをご確認ください。



# おいしい 道産品プレゼント!

抽選で30名様

倉本聡さんの点描画の世界をお菓子にした、きのとやの「森の忘れもの」5個入りをプレゼント! 小豆こし餡入りのミルク餡にくるみの食感を加え、しっとり焼き上げました。

次のアンケートに答えて道産品を当てよう!

北海道が政策展開の基本とする「3つの挑戦」のうち、一番関心があるものはどれですか?

- ①北海道への想いをつなげる豊かな地域づくりへの挑戦
- ②多様性と可能性を活かした確かな未来づくりへの挑戦
- ③地域と未来を支える活力ある産業づくりへの挑戦

●応募方法: アンケートの答え、住所、氏名、年齢、電話番号、本紙への意見・感想を記入の上、ハガキまたはウェブサイトでご応募ください。当選の発表は発送をもってかえさせていただきます。

●応募期限: 9月30日(月)必着 応募いただいた方の個人情報は、当プレゼントの発送以外には使用いたしません。

●応募先 〒060-8588(住所不要) 北海道広報広聴課「おいしい道産品プレゼント!」係

●掲載記事の関連ページ、広報紙アンケート結果、広報紙のバックナンバーなどの閲覧も上記からアクセスできます。※3月号のプレゼントには、3,883件の応募をいただきました。

北海道の人口	総人口	男	女
令和元年6月末	5,279,640人	2,493,336人	2,786,304人
前年同月比	36,765減	17,572減	19,193減

※人口は毎月公表される統計資料に基づき直近のデータを掲載しています。

次号のお知らせ 11月号は10月9日(水)に配布開始の予定です。



みんなの文字

この広報紙は環境に優しい植物性インキを使用しています。本文には見やすいユニバーサルデザインフォントを採用しています。

発行/北海道総合政策部知事室広報広聴課 〒060-8588 札幌市中央区北3条西6丁目 ☎(011)204-5110 FAX(011)232-3796

広告

※この広告は、広告主の責任において北海道が掲載しているものです。